



KEICHIKU FIRE DEPARTMENT

平成 25 年 1 月 31 日放送分（抜粋）

本日のゲストは前回に引き続き新人消防士第 2 弾ということで、平成 24 年 4 月に採用された消防士 6 名のうち、昨年秋に福津市にあります福岡県消防学校での研修を終え、いよいよ今年 4 月から隊に配属され現場活動が始まりますので、その勤務に向けて消防署で研修中の八野消防士と京築広域圏消防本部初の女性消防士の加藤消防士の 2 名です。お二人には後ほど自己紹介とともにたっぷりお話を伺いたいと思います。

本日の話題は、平成 24 年中（1 月～12 月）の火災・救急・救助統計が出来上がりましたので、その結果につきまして火災に関してのみ簡単に内容をご紹介します。詳細については次回の放送で詳しくお話ししたいと思います。

まず火災件数は、**39** 件でした。前年と比較しますと **14** 件の減少となっています。しかし、14 件の減少ではありますが、建物火災に関しては、**2** 件の増となっていて、焼損面積、損害額も大幅な増加となっています。また住宅などの建物火災は **24** 件で、全体の **62%** を占めています。

消防では、住宅用火災警報器の設置推進を重点目標に掲げ、火災による死傷事故の未然防止に努めたいと考えています。

このような中で吉富町では昨年 **1** 年間火災が **1** 件も発生していません。これは常日頃から住民の皆様の方に対する意識が高いものと思われます。管内の**火災ゼロ**を目指し各市町と消防が力を合わせ頑張っていきたいと思います。

また、昨年管内におきまして**住宅用火災警報器**を取り付けていたため**ボヤ**で済んだという事案がありました。

住宅用火災警報器は寝室に取り付けますが、そちらの住宅では、台所にも住宅用火災警報器を設置してありましたので、コンロに鍋をかけたまま忘れて煙が充満したのですが、住宅用火災警報器が鳴ったことで異変にいち早く気づき、火災を防ぐことができました。皆様のお宅でも寝室だけでなく、台所やリビングにも取り付けることで、あなたと大切なご家族の命を守ることに繋がると思います。